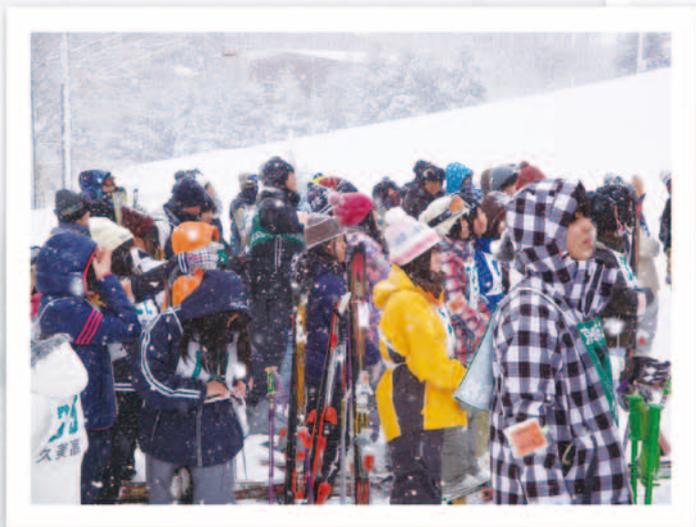
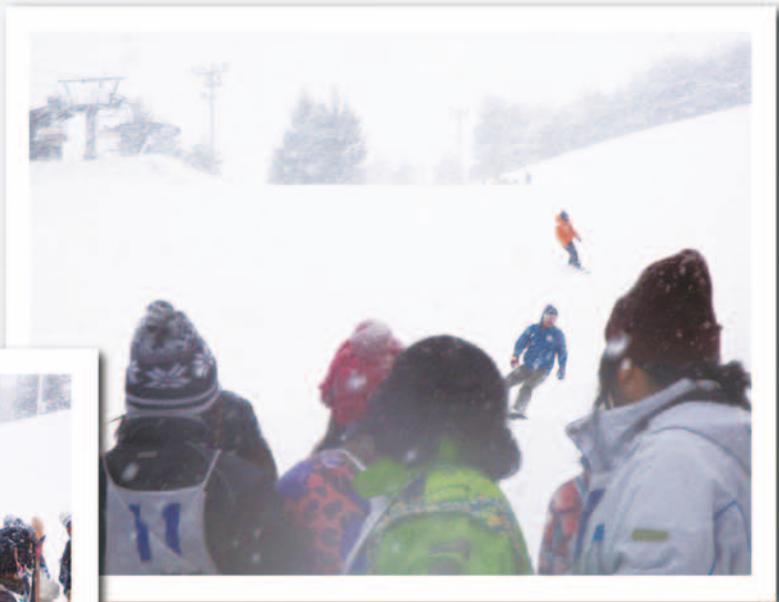
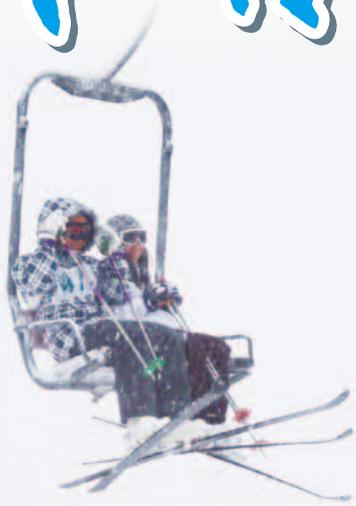


平成25年度 第3号

PTA会報

発行日 平成26年2月28日
発行 京都府立久美浜高等学校PTA

1年生スキー・スノーボード実習



京都府立久美浜高等学校PTA

お世話になりありがとうございます。ありがとうございました。



P T A 会長

白岩 利一郎

P T A 会員様の御協力、本部役員の方々の支えで一年が過ぎようとしています。有難うございます。校長先生、副校長先生や大道先生をはじめ諸先生の御指導により P T A 行事を行なえたと思います。心から感謝申し上げます。

四月初旬は高校の P T A がどのような活動を行なっているのか全く知りませんでした。

今年度は、特に大きな事業として近畿地区高等学校 P T A 連合会のスタッフとしての参加や P T A 指導者研修会の発表校になるなど、例年になく良い経験をさせていただいたと思います。

今年度、P T A の取り組みで地区懇談会は全ての地区を3つに分けて学校で開催しました。遠方で行くには思いましたが、子供が通学し学んでいる学校を少しでも身近に感じていただけたよう計画しました。沢山の方に参加していただき貴重な意見を聞くことが出来ました。今後の P T A 活動や学校教育に反映されると信じています。

その他の P T A 行事も初めての事で、八月には千日会巡回指導は今の高校生がどんな風に祭りに参加しているか知ることが出来ましたし、九月の文化祭(模擬店)は台風で順延になり、メニューが変更になったことで販売出来なかったうどんを先生方に購入して頂き有難うございました。模擬店のカレーやフランクフルト、ジュース販売、二日目は無理をお願

いして、うどんを販売していただきました。調理や販売に平日の日程変更にも関わらず仕事を調整して頂きまして、多くの P T A 会員様にお世話になりました。子供たちには美味しく提供できたと思います。その時は、子供たちとのふれあいや保護者同士の懇親も深まったと思っています。ありがとうございます。

十月には両丹では数少なくなった持久走の取り組みに、多くの方に応援や給水活動として参加いただきました。

高校生活三年間はあっという間に過ぎていきます。外見は大人になっていきますが、内面はまだまだ子供です。高校を卒業し将来の夢に向かって、親元を離れ進学や就職などいろいろな方面へ歩んで行きたいと思いが、親としてまだまだ手助けや助言、時には相談役になり応援していきたくと思っています。

一・二年生の保護者の方も、P T A 活動・事業に参加や学校に足を運んでいただき、子供達と同じ環境を共有し目標の後押しをしていただきたいと思います。

私自身もこの P T A 活動初めての経験をさせていただき、驚きと同時にわくわくしながら楽しく過ごさず事が出来ました。本当にありがとうございます。来年度の P T A 活動をよろしくお願



その時、踏み出す一歩のために



校長

三好 正志

P T A 会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育に御理解と御協力をいただきありがとうございます。おかげさまで本年度の教育活動を充実した内容で締めくくることができました。特に、白岩利一郎会長を中心とした本部役員の皆様には、P T A 活動の牽引役として御尽力いただき、深く感謝しております。

さて、三年生の保護者の皆様におかれましては、お子様の御卒業、誠にありがとうございます。過ぎ去ってしまった「あつ」と言う間の高校時代ですが、心配だったことや子どもの成長に戸惑ったことなどあれこれと思い返すと、そう簡単に言い尽くすことはできない高校時代だったのではないかと思います。人として成長し独立していく姿を目にする、頼もしくもありますが、一抹の不安と寂しさが心のどこかに滲んでしまっているのではないのでしょうか。

学校では、生徒会を中心に学校行事をもり立てたり部活動での良き先輩として活躍したりする姿、明るく元気に挨拶をする姿などがとても印象的な学年度でありました。耐震工事のため、今年度はプレハブ教室で卒業式の日を迎えることとなりましたが、友達を大切にできる温かみのある学年であったと思います。

生徒達は、卒業後それぞれの進路で

独自の生活を始めることとなります。順調なときもあれば苦しい場面も当然あるはずですが。特に、厳しさにへこたれそうなきや辛くて負けそうなきに、自分自身の原点を確かめ、前向きに一歩を踏み出す力を持つて欲しいと願います。その時、本校での高校時代が力になれば幸いです。また、その時こそ、校訓「意欲・克己・創造」の内、一つでもいいから思い出し、たった二文字の言葉から力を、勇気を、知恵を呼び起こして前に進んで欲しいと思います。

四月の年度始めまでには、まだ、ほんのしばらくの間があります。高校卒業という節目の時、この時を大きな節目、生涯にわたり忘れ得ない心に刻まれた貴重な節目となるよう、保護者の皆様におかれましては、この一時を大切に、思いを込めて生涯の宝をお子様の方に、確実に届けて欲しいと思います。時が過ぎ離れてもなお鮮明になるものがあるとすれば、思いを込めた親の言葉や本気で向き合った親の姿だと思います。

最後に、今後とも本校への御支援をいただきますようよろしくお願



平成25年度 PTA事業

4	26日	進学講演会
	11日	初総会
5	30日	国道178号(甲山)道路改良促進期成会総会
6	2日	府丹後地方PTA指導者研修会
	7日	府立高校PTA連合会総会
	24日	地区懇談会(橘・網野・丹後・弥栄地区)
	26日	地区懇談会(峰山・大宮・与謝・与謝以南地区)
	28・29日	近畿地区高等学校PTA連合会大会 京都大会
	5日	地区懇談会(久美浜地区)
7	12日	京都府PTA指導者中央研修会
	19日	「PTA会報第1号」発行
8	9日	千日会巡回指導
	5・6日	文化祭参加(模擬店)
9	25日	体育祭
	24~30日	交通安全指導(24・26・27・30)
10	27日	親睦球技大会
	31日	校内持久走大会給水活動・応援
11	9日	PTA指導者研修会(両丹ブロック)
12	5日	丹後地方学校安全研究協議会 次年度本部役員立候補受付
	20日	「PTA会報第2号」発行
	10日	会計決算・監査会
2	22日	年度末総会
	28日	「PTA会報第3号」発行
3	上	市PTA協議会久美浜ブロック年度末総会
	下	有線放送(PTA活動報告)

平成25年度 PTA会計決算書

(25.4.1~26.2.10)

【収 入】

(単位:円)

科 目	決 算 額	備 考
繰 越 金	498,993	前年度繰越金
会 費	795,000	保護者 226名 教職員 39名 計 265名 @3,000
活 動 補 助 金	17,220	府P補助(交通安全啓発事業)
雑 収 入	103,108	文化祭模擬店売上金102,900、預金利息208
合 計	1,414,321	

【支 出】

(単位:円)

科 目	決 算 額	備 考
	742,957	
会 議 費	0	
運 活 動 費	328,807	文化祭模擬店材料、親睦球技会参加賞、 地区懇飲み物、交通安全のぼり、保険掛金 (行事傷害保険・P連賠償保険)ほか
営 事 務 費	13,165	あて名ラベル、文書郵送料、振込手数料ほか
旅 費	28,103	府P・両丹P・市P等会議への出席旅費
費 員 研 修 費	150,962	府P中央・両丹P・丹後P研修会参加旅費ほか
負 担 金	55,600	府立高P連会費
広 報 費	166,320	会報発行(2回)
慶 弔 費	0	
	117,264	
補 進 路 指 導 費	0	
助 学 習 指 導 費	0	
費 保 健 指 導 費	14,364	学校保健ニュース
生 徒 指 導 費	0	
表 彰 費	0	
人 権 教 育 費	0	
雑 費	102,900	模擬店売上金補助(生徒会へ)
予 備 費	200,000	クラブ後援会会計へ
合 計	1,060,221	

持久走
給水活動



親睦
球技大会



文化祭
模擬店





担任団より贈る言葉

A 組担任 侯野 雄一郎

卒業おめでとうございませう。みんなと出会って早三年が経ち、その三年間が間もなく終わりを告げようとしています。入学式の日、初々しく呼名に答える姿、初めての仲間で協力し合った宿泊研修での大縄跳び競争、文化祭でクラスがまとまらず戸惑う姿、振り返ればつい先日の出来事のように思われます。「あのとき松葉つえをついていたなあ。」「あのとき〇〇と仲悪かったなあ。」「あのとき今までに見たことのない顔をして睨みつけられたなあ。」「あのとき始めて涙を見せたなあ。」「記録していません。人生の中での三年間なんてほんのわずかの割合にすぎません。でも、高校三年間という時間は一度きりです。戻りたくても戻れない三年間です。そんなみんなの貴重な三年間を共に過ごせたこと、みんなの記憶の一片に居られたことを本当に感謝しています。ありがとう。」

歳を重ねるにつれて一年という月日は早く流れていくように感じます。私にとつての三年間はみんなにとつての三年間とは捉え方が違ったことと思います。みんなより倍近く長く生きてきた中で知ったことや学んだことをまだまだ伝えきれずにいました。この場を借りて最後に伝えようと思います。

みんなは四月から進学する人、就職する人それぞれです。道は違えども、共通することは「自分で拓いた道へ進む」ということです。もしかしたら今までは流れに任せてきただけという人もいるかもしれませんが、でも、これから自分で見つけた場所、自分が苦労して勝ち取った場所、自分の信念と責任を持って、生きていくのです。このことに自信を持ってください。誇りを持ってください。人は「決める」ときに大きな勇気が必要です。みんなは自分の進路を「決める」ときに悩み、そして一歩踏み出す勇気が持てたのです。一歩踏み出せばあとは二歩、三歩と歩むのみ。自然と未来へと向かっていきます。もしも大

きな壁にぶち当たったら、もしも失敗をしてそれを取り戻したかったら、もう一度勇気をもって自分の余裕のある地点まで戻ればいい。後ろに一歩、二歩、三歩と進めばいい。前でも後ろでも進めばそれは未来です。目標までの最短距離なんて要らない。時には立ち止まってじっくり考えることも必要だとは思いますが、動いた歩数がみんなの成長した大きさと私は信じています。「急がば回れ」ということわざもありますが、急いで近道をするよりも回り道をした方が、日常では見ることのない景色や出会ったすのなかつた人と出会う可能性が広がります。そしてそれは必ず自分の能力や感性を伸ばしてくれまう。今みんなは今までは違つて一歩を歩み始めようとしています。自分で決めた道へ向かつて、未来へ向かつて一歩進もうとしています。これからは様々な場面で「決める」瞬間に出くわすでしょう。チャンスを逃さないでください。大きな目標、夢に向かって歩み続けてください。前でもいい。後ろでもいい。自分の決めた道の上を自信と誇りを持って。」

Aクラスは21名が卒業します。人数も少なくて個性溢れるクラスでした。みんなの特長を一言で表すと「空気を読む」ことができる、ということでしょう。その日のクラスの雰囲気、担任の雰囲気を感じとらせたなら天下第一品です。本当ならいつもニコニコ教室に入っていくことができたところですが、様々な事情でそれもいかならない日もありました。でも毎日一人ひとりの表情を見るのが楽しみで教室に入っていました。ショートホームルームや掃除がなく、クラスに一度も行くことのない日は何か物足りない想いでした。もう21人全員と一斉に顔を合わせることはないと思うと寂しく感じてなりません。しかし、これから多くの人が地元を離れて新たな舞台へ進みます。親離れ、子離れとよく言われますが、私も生徒離れをし、君たちの門出を手放して祝福したいと思います。しっかりと地に足を付けて、一歩、一歩を大切に踏みしめて未来へ歩んでください。

三年生のみんな、本当に卒業おめでとう。そして、ありがとう。

B 組担任 松下 彩

卒業おめでとうございませう。怒涛のように過ぎていった三年間で、気付けばもう卒業... そのように感じています。みなさんはこの三年間を振り返ってみて、どのような思い出がありますか。

私はみなさんが初めての担任でした。教員になるからには担任がしたい!とずっと思っていたことだったので、始めはみなさんと過ごす毎日が予想以上に楽しくて、こんなにやりがいのある仕事に就けて本当に幸せだなと思っていました。しかし、やはり人の人生を預かるというのは、一筋縄ではいかず、想像以上に大変で、しんどくて、辛くて...。しかし、みなさんと一緒に時には笑い、時には悔しみに涙したりと、些細なことでも一喜一憂できることで、この仕事にやりがいも感じ、原動力へとつながりました。

また、みなさんの成長がりに本当に驚きです。体の成長はもちろんですが、何よりも心の成長をとて感じました。心の成長は目には見えないけれど、確実に大人に近づくみなさんを近くでひしひしと感じていました。

さて、みなさんはこれからそれぞれの道へ自分で歩いていきます。今までは小・中・高と、地元で、親元で、あまり環境の変化がないまま過ごしてきた人が多いと思います。高校は義務教育ではないのですが、周りの流れに乗りながら、なんとなく決められた道を歩いてきたという人が大半だと思っています。

しかし、これからは自分が選んだ道を一人で歩いていくことになりまう。特に、今までの大きく違つたことは責任の重さです。「自己責任」という言葉を高校でも使ってきましたが、ここからは本当に自己責任です。今までのように親や周りのせいにして通用しません。自分の言葉や行動に責任を持ってください。

また、一番強く思うことは、嫌なこと、しんどいことがあっても簡単に逃げないでほしい、そこで歯を食いしばって戦ってほしいということ。弱音を吐くことはあってもいいと思います。愚痴をこぼすこともあると思います。しかし、自分でその道を選んだ以上、自分の存在を認められるまでは、もしくは最後までやり遂げるまではここで戦ってください。思うようにいかないことや、こんなはずではなかったと思うことは世の中たくさんあります。みなさんも必ずそのような状況に出合つたはず。そんな時、しつぽを巻いて逃げることは簡単だけれど、その状況を自分の力で乗り越えれば、必ず自分の力になります。これからが本場の意味で自分自身を成長させる時だと思ひます。十年後くらいに、さらに成長したみなさんと笑顔で出会えたら嬉しいです。三年間本当にありがとう。みなさんの今後の活躍を心から祈念しています。



C組担任 小西 鉄也

卒業おめでとうございませう。三年間の高校生活を終え、みなさんは今、どのような心境でしょうか。卒業後の進路について考えると期待と不安が混じりあった落ち着かない状況ではないでしょうか。

新しい人間関係、生活する環境の変化、身につけるべき知識や技術・・・これから先起こる、予想できること、予想外のことに對してみなさんは、これまで的人生で身につけた知恵と判断力と行動力で対応していかなければなりません。我々が生きる現代社会は多くの人に信じられていたことが嘘であったり、とても安価で手に入ったものが高価なものになったりと常に変化していくことが前提にあります。我々はそのような世の中自分で自分が愛する人が幸せになれるように情報を選択し、行動に移していかなければなりません。その時、とても大切になるのは自らが持つ「価値観」です。それは言い換えれば「幸せの基準」です。この「幸せの基準」は自分オリジナルなものであるべきだと思います。ちなみに高校を卒業し十数年が経った私の「幸せの基準」は未だ、オリジナルとは言えませんが、それは人と比べることから抜け出せていないからだと感じています。お金が大切な人、仕事を生きがいにする人、家族と過ごす時間を最優先する人、様々です。それでいいのだ、と私自身、自分に言い聞かせる毎日です。みなさんが今、持っている幸せの基準もこれから出会う人、旅する所、口にするものによつて生涯、変わっていく可能性が有ります。みなさんには自分の幸せについて胸を張って語れる人になってほしいと思います。そして、みなさんがもう少し歳をとり、お互いの幸せについて語り合うことができたらしら嬉しいです。

明日からまた、「かけがえのない」毎日がスタートします。しかし、それは誰にとつても保障されたものではありません。三年前のこの季節、みなさんは久美浜高校生になる直前のこの時期をどのように過ごしていましたか。あの時我々は「明日が来る」ということが当たり前ではないという事実を受け止めなければなりません。三年間、久美浜高校で学べたこと、今、ここに居ること、そして明日が来ること、どれも当たり前ではないのです。だから今、この時を「かけがえのないもの」にするべきです。本気で歩きたいところがあればそれは行くべきです。心から会いたい人がいればどんなに遠くても会いに行くべきです。自分を変えたいという思いが強いのであれば行動を起こすべきです。それには勇気が必要です。勇気がある人、勇気のない人などと言いますが、それは「今」を本当に大切にしているかどうかの違いだと思えます。卒業するみなさんには自分の人生をしっかり歩む為に勇気を出してほしいと思います。

みなさんと久美浜高校で過ごした日々を決して忘れませう。また、笑顔で会いましょう。楽しくそして、「かけがえのない日々」をおりがとつて。

学年部長 山下 豊子

三年生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。久美浜高校で過ごした三年間は皆さんにとってどんな日々だったでしょうか。難しくなっていく授業、苦しい練習に明け暮れる部活動、受験勉強はもろろん、自己理解や面接練習で苦勞した進路実現への活動。きつと辛いことや苦しいことがなかったという人はいないと思います。しかし、高校生活で経験する困難は間違いなくあなた方を成長させたはずですよ。苦手なこと、乗り越えるのが難しいことは大人になってもありますが、どうやってそれを克服していくかということとを学んだ三年間だったのではないのでしょうか。

日々だったと思っています。学年にあればやはり自分の学年の生徒を一番可愛いと思ひ、それゆえ伝えたいと思つことはよくないように繰り返して、また厳しくも接してきました。「これくらいのことなんでこんなに叱られるのか。」と思つた人もたくさんいたと思います。学生の、これくらいいいかという基準ではなく、社会人として通用する判断や考えをわかつてほしい、という思いでしてきた指導ですが、どれくらい伝わっているだろうかと反省もしています。

もちろん学校生活には辛いこと苦しいことばかりでなく、いろいろな楽しいことがあつたと思ひます。勉強や部活動で努力の結果が出せたり、新しい友人関係が結べたり、行事でいろいろな経験ができたりと数え上げたらきりがなくらい思ひ出に残ることもあるでしょう。でもその楽しいことの多くは、きつとたくさん努力の結果や意見や気持ちのぶつかり合いの中で得られたものです。ただ案をして過ごす時間、達成感や充実感を生みませせん。それは今からの新しい生活でもずっと続いていくことです。

体育祭・文化祭で学年としての成長をたくさんの方に褒めていただいたり、レシテーションングランプリでは続けて見てくださった先生から全体のレベルアップはもちろん、個人の成長も見られたと教えていただいたりしたことは、あなた方と担任の先生方との努力の結果であると考えています。辛く苦しいこと、困難に立ち向かつて努力したことの先に達成感や充実感を忘れず、次の場所でも自分のするべきことにきちんと向き合えるあなた方であつてほしいと思つています。私たちはいつまでもあなたの方の応援団です。あなた方が自分の人生を、「これでよい」と思つて歩いていくことをいつも願つています。

私自身も、前任の廣田先生から引き継いで、学年部長として二年生からこの学年とかわつてきました。若いけれどもクラスや学年のことを安心して任せられる三人の担任と共に、三年生全員をどうやって成長させていくか一生懸命考え、努力した

保護者の皆様には、本校の教育にご理解とご協力をいただきましたことを心より感謝いたします。若い担任にもどかしく思われることもありましたかと思ひますが、生徒たちの成長という目標のために努力したことに免じていただければ幸いです。

最後に、七十一名の今後のご健康とご活躍を祈念してお祝いのご挨拶とします。



卒業する我が子へ

① 思えば三年前、第一希望でなかったせいか一学期はよく休んだよね。単位制だということとをわかっていても、君は平気で親の方がドキドキで、卒業は無理かもと思ったものでした。そんな君が変わったのは、二年生になってから。仲のいい友達にたくさん巡り合えてからだったね。

ね。そして進路も自分で決めて自分の将来について、打ち明けてくれたよね。

少しやんちゃもして、先生にも反発したけど理解のある先生にも出会い、学校生活が楽しく学校のことをよく話してくれたよね。

卒業を目の前にして、本当によく頑張ったと思います。今日があるのは、先生でもないたくさんのおかけだと思っています。これからも友達を大切に、夢に向かって羽ばたいて下さい。母は、いつだって君のことを応援しているからね。

最後に、わが子に関わってくれたお友達へ、心から「ありがとう」。

② 三年間の高校生活も間もなく卒業となります。思えばあっといふ間の三年間でした。高校入学前と比べて娘もいろんな三年間の体験をして随分心も体も成長したのを親として実感しています。高校生活は、人生の間で一番良い時期だと思っています。娘にとっても三年間の間に楽しい事や辛い事、苦しい事いっぱいあったと思います。特に友人関係、勉強など三年間でいっぱい体験したでしょう。楽しかった修学旅行は、特に一生の思い出になった事でしょう。体育祭や文化祭数え

たらきりが無く、三年間の高校生活は必ず今後の娘の人生にとって一生の宝だと思います。娘は進学をしますが、この三年間を思い出し、辛い時や悲しい事をのり切ってください。先生方にも大変お世話になりました。ありがとうございました。

③ 久美浜高校へ入学し、あっといふ間に三年が過ぎようとしていきます。入学当初はどんな高校生になるんだらうと思いつつ、子供の成長を見えきました。親の想像以上に部活・生徒会・クラスと毎日子供からの話を聞いていられるととても有意義に過ごしているのが感じられました。子供がこんな風に過ごせたのも先生方や友達に恵まれたからだだと思います。久美浜高校でとても大きく成長した我が子。これからいろいろな事があると思いますが、前向きに自分らしさを失わず頑張っていってほしいと思います。最後に先生方には本当にお世話になりました。ありがとうございました。

④ ついこの間入学したと思ったらもう卒業。三年間たいへんなこと、楽しかったこと、いっぱいあったと思う。三年の夏就職活動で大変でした。大変な思いをして就職が決まり春から社会人。これからは、社会人として、仕事に頑張ってください。

⑤ 高校生活も、残りわずかとなった。三年間遠距離通学、まずはご苦労さん。高校生活は楽しいようで、嬉しいような、少し物足りないような、複雑な気持ちである。勉強はそれなりに、趣味は精一杯、そんな風に見えた。毎日、自分の好きな列車を使用しての行き帰り、友人とも楽しく過ごした。又、先輩の方とも顔見知りの方が居たようである。学校以外でも、趣味を同じとするサークルに入会して熱心に活動していた。アグレッシブな三年間だったと思う。春からは親の元を離れての生活になる。高校の時と同じ様に、アグレッシブに一生懸命頑張つて、立派な鉄道マンになつてほしい。子供の夢は、親の

⑥ 社会人になるまでにいろいろな事を教えておきたいと思っていました。今ではあなたに教えてもらってばかりだと気がつきました。これからは「お母さんはこんな事も知らないの」と叱られそうです。最近の私は物忘れがひどくて大変なんです。でも安心して老いていきます。もう思い残すことはありません。ともあなたに感謝しています。卒業おめでとう。自分の人生を大事に生きてください。

⑦ ゆとり教育世代の過中で義務教育を終え、高校の進路で悩み、久美浜高校に入学し早三年。卒業を迎えようとしている。そして春には専門学校への進学が決まっている。慌ただしく過ぎたように感じる高校生活だが有意義に過ごす事が出来たのだろうか。何か得るものはきっとあつたはず。四月から一人暮らしの生活が始まる。すごく心配でたまらないのだが、あえてそういう素振りを見せないでおこうと思つている。二年の頃から自分の進路を決めていたようだが反対はしなかった。でも確認は何度もした。思っていた以上に意思は固く、信じてみようと思った。本気でやりたい事を見つけたのだから夢に向かって頑張つて欲しいと願うだけである。最後に校長先生をはじめ、先生方三年間ありがとうございました。三年で初めて参加させてもらった文化祭の模擬店。体育祭。とても充実した楽しい思い出になりました。今後も続けてほしいと思います。

⑧ 卒業おめでとう。この三年間本当によ

⑨ 卒業おめでとう。長いようで短い三年

⑩ 卒業おめでとう。長いようで短い三年



入学して、学

三年間の高校生活、お疲れ様でした。先輩方の文化祭や体育祭の活躍ぶり、凄いなと思いがら見ていました。進学される先輩方、就職される先輩方、有意義な毎日を過ごしてください。(二年女子)



1・2年生から卒業する3年生へ

間でした。クラブに始まり、クラブに終わる高校生活は、自分が思い描いていた高校生活ではなかったかもしれないですね。今まで頑張った努力を忘れず、これからの人生に活かしてほしいと願っています。「のん気・根気・元気」の精神で多くの人と出逢い、感謝を忘れず人を愛し、誰からも愛される人になってください。親の出来る事は微力ですが、困った時は悩まず話してほしいと思います。陰ながら応援しています。

先輩とは、部活(カヌー)で関わってきて楽しい思い出ばかりでした。特に、インターハイやその他の全国大会など一緒に出場でき、優しくしていただきました。先輩達は実力もユーモアもあって最高でした。(一年男子)

卒業おめでとうございます。文化祭や体育祭での真剣な姿がとも印象に残っています。私も、先輩のようになりたいと思います。今まで、有難うございました。(一年女子)

沢山の行事で、皆さんの活躍を見てきました。凄く素晴らしいかったです。これから、大変な事があると思いますが、自分を信じて頑張ってください。(一年女子)

三年生の先輩の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、長い間お疲れ様でした。自分の持っている夢を実現するために、未来に向かって突き進んで下さい。本当に有難うございました。(一年男子)

三年生の皆さんには、いろんな事を教えていただきありがとうございます。先輩達の良い所を見習って、これからも頑張っていきます。お疲れ様でした。自分の夢を実現してください。(一年男子)

一番印象に残っているのは、文化祭と体育祭です。どちらも迫力があって、見ていて頼もしかったです。高校を卒業しても頑張ってください。応援しています。(一年男子)

校になじめなく話す相手もいなくて不安でしたが、先輩が話しかけてくれて嬉しかったです。先輩の言葉で、抱えていた不安もなくなりました。いろいろアドバイスもしていただきました。ありがとうございました。(一年女子)

卒業おめでとうございます。いつも先頭に立ち、私達を引っ張ってください。有難うございました。私も先輩方のように、尊敬される三年生になれるよう頑張りたいと思います。(二年女子)

二年間、本当にお世話になりました。特に、美術部の先輩には仲良くしてもらい嬉しかったです。私達も、これから進路実現に向けて頑張ります。先輩達も夢を達成してください。(二年女子)

先輩達はカヌーに対する思いが強く、活気もあり凄く憧れる先輩でした。大学に行っても頑張ってください。(二年女子)

卒業する先輩達は、同じ保育園だったり、部活動で共に汗を流した先輩達が多く、とても寂しく感じます。先輩達が残してくれたことをしっかりと受け継いでいきたいと思っています。(二年男子)

福祉系列の先輩方を見習って、私たちも頑張る資格を取りたいと思います。先輩達も目標に向かって頑張ってください。応援しています。卒業されても、学校に顔を見せに来てください。(二年女子)



部活動では、いろいろな活動をやる中で凄く仲が深まり、まるで上下関係のないような時間でしたね。引退の時期を過ぎても、出来る限り部屋に足を運んで頂いたこと凄く嬉しかったです。有難うございました。(二年女子)

三年生の先輩は、とても活発で活動的な人たちが多く、学校を少しでも良くできるように色々な行事を積極的に取り入れようと頑張ってくれました。久美高の鏡でした。社会に出ても元気で頑張ってください。今までもお疲れ様でした。(二年女子)

茶道部の先輩の皆さん、卒業おめでとうございます。部活が楽しかったのは、先輩のおかげです。思い出が沢山あって、先輩との別れが辛く悲しいです。一人ひとりととても素敵で、現在進行形で大好きです。(二年女子)

分らないところとか難しいところを、分かりやすく教えてもらって嬉しかったです。また、いっぱい笑わせてもらって部活がとて楽しかったです。先輩のように、ギターが上手になりたいです。今まで、有難うございました。(二年女子)

三年生の皆さんは、いつも学校行事など中心となって引っ張ってくれました。これからは、自らの夢を目指しそれぞれ別々の道に進むことになると思いますが、夢を叶えるために頑張ってください。(二年男子)



硬式野球部

【顧問】東中 良平・川端 茂大・中村 光男

現在、野球部は少ない人数での活動となっておりますが、その分一人ひとりが主役となり、明るい雰囲気の中で練習をしています。残念ながら、秋季大会は部員不足により、出場することができませんでしたが、「元気 笑顔 勝利」を合言葉にトレーニングに励んでいます。今後ともご支援、ご声援のほど、よろしくお願いいたします。



男子バスケットボール部

【顧問】松下 彩・田中 栄介

日頃より本活動に御理解いただきありがとうございます。

現在、男子バスケットボール部は、2年生1名、1年生2名、マネージャー1名の計4名で活動しています。今年度は3年生が引退後、人数が足りず、1月に行われた新人大会には出場することができませんでした。しかし、人数が少ない中でも1人1人が技術の向上を目指しながら、日々の練習を行っています。来年度もチーム内でお互いに励まし合い、切磋琢磨しながら、全員で成長していけるように取り組んでいきたいと思っております。また、技術の向上のみならず、高校生として大事なことを忘れず、成長していけるよう指導に当たりたいと思っております。今後ともご声援のほどよろしくお願いいたします。



【試合結果】

<両丹夏季大会>

加悦谷	66-63	久美浜
峰山	156-48	久美浜
久美浜	103-40	暁星
府立工業	116-55	久美浜
久美浜	84-71	東舞鶴
久美浜	84-66	大江

<ウィンターカップ 両丹予選>

1回戦	久美浜	122-62	日星
2回戦	京都共栄	142-57	久美浜

カヌー部

【顧問】安井 國士・小西 鉄也・岡田 九季・増馬 克巳

日頃よりカヌー部の活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

カヌー部は現在、1年生5名、2年生4名で活動しています。部員の半分は高校からカヌーを始めましたが全国大会入賞、国際大会出場を目指して日々、トレーニングに励んでいます。



カヌー部では個々の「具体的で明確な目標づくり」とそれに合わせた「計画的なトレーニング」を大切にしています。「夢を持つこと」と「夢を実現する力」を養っています。夢が壮大になればそれは個人の力では成し遂げることができません。周囲への感謝なくしては自分の夢を叶えることはできません。自分の夢を大切にできれば、他人の夢も大切にできるようになります。高校卒業後も他者へのおもいやりの心を持って生きてほしいとも考えています。

平成27年には全国高等学校総合体育大会が開催されます。現1年生が高校3年生で全国の強豪と優勝争いをしてくれると期待をしています。

今後とも久美浜高校カヌー部をよろしくお願い致します。

【主な成績】

<平成25年度 全国高等学校総合体育大会 大分インターハイ>

男子 K-1	500m	8位	村野 武広 (1年)
	200m	4位	村野 武広
男子 K-2	200m	4位	山添 真志 (3年)・嶋貴 雄太 (3年)
男子 K-4	200m	7位	山添 真志・嶋貴 雄太・黒田 尚志 (3年) 村野 武広

<第68回 国民体育大会 東京都>

少年男子 K-1	500m	7位	村野 武広
	200m	6位	村野 武広
少年男子 K-2	500m	6位	山添 真志・嶋貴 雄太
	200m	8位	山添 真志・嶋貴 雄太

<2013 アジアジュニアカヌースプリント選手権 ウズベキスタン>

日本代表として1年 村野武広 が出場しました。

剣道部

【顧問】谷村 孝雄・永山 隆司・森 勇人・廣井 伸一郎

現在の部員は、1年生女子4名(マネージャー2名)、2年生男子2名で活動をしています。部員のほとんどが初心者ですが、ほぼ全員が有段者になりました。



興味本位で始めた部員も多いですが、他校の経験者相手にも物怖じせず、精一杯相手に向かっていく姿勢に顧問は感心しております。2年生の二人も1年生の時是一本すら取ることができませんでしたが、最近では、同等の力を持つ相手にはきっちり一本を取り、勝てるようになってきました。

顧問が部活動に参加できない日も、2年生男子が中心に指揮を執って主体的に取り組んでいます。試合で結果を残すことが最終目標ですが、暑い日も寒い日も主体的に取り組む姿勢が将来に必ず役に立つと信じて活動しています。

ソフトテニス部

【顧問】廣井 伸一郎・木崎 知文

ソフトテニス部は現在、男子部員4名、女子部員4名、計8名で活動しています。部員たちは全員1年生であり、今年の公式戦では1度も勝つことができませんでしたが、「府大会出場」が部員全員の目標です。生徒たちは、自分たちの目標に向かって、主体的に練習に取り組んで頑張っています。これからもソフトテニス部をよろしくお願いいたします。



陸上競技部

【顧問】辻 博史・大道 鎌一・大西 徹

P T A会員の皆様には、日頃より、陸上競技部の活動に御支援・御協力をいただきありがとうございます。

陸上競技部は3年生が引退し、現在、1年生4名、2年生3名の計7名で活動しています。大会では、夏のユース選手権では3名が、秋のジュニア選手権においても4名が両丹予選会を勝ち抜き府下大会に出場しました。また、継続して実施している久美浜中学校との合同練習会も本年度は3回実施することができ、中学生と一緒に活動したり、時には高校生が指導したりと高校生にとっても大変良い経験が出来ました。

人数は少ないですが、中・長距離、短距離・跳躍、投擲とそれぞれに専門の指導できる顧問の先生を配置していただき、選手はそれぞれ自己記録の向上はもちろん、府大会・近畿大会・全国大会への出場を目指して、日々頑張っていますので、今後ともご声援のほどよろしくおねがいします。

【陸上競技部 主な大会結果】

＜両丹ユース陸上競技選手権大会（平成25年8月6日 丹波）＞

廣岡 潤也	走高跳	3位	走幅跳	5位
村岡 彰人	200m	7位	400mH	5位
田中 里紗	1500m	9位		
綱 のぞみ	砲丸投	4位	やり投	4位
塩西 悠茉	円盤投	4位		
大垣 志織	800m	8位		
藤井 詩貴	砲丸投	7位	円盤投	5位

＜京都ユース陸上競技選手権大会（平成25年8月18日～20日 西京極）＞

廣岡 潤也	走高跳、走幅跳	出場
田中 里紗	800m、1500m	出場
綱 のぞみ	砲丸投、やり投	出場

＜両丹ジュニア陸上競技選手権大会（平成25年9月28日 丹波）＞

廣岡 潤也	走高跳	3位
行待 宏城	円盤投	4位
西村 七海	円盤投	1位
藤井 詩貴	円盤投	6位

＜京都ジュニア陸上競技選手権大会（平成25年10月12日～13日 西京極）＞

廣岡 潤也	走高跳、走幅跳	出場
行待 宏城	円盤投	出場
西村 七海	円盤投	出場
藤井 詩貴	円盤投	出場

＜両丹駅伝競走大会（平成25年10月14日 海洋・エネルギー研究所コース）＞

男子	8位	（吉岡智也、廣岡潤也、山添真志、平野貴志、芦田翼、梅田凪、服部友哉）
女子	8位	（酒井愛夏、田中里紗、中村知江里、森野美桜、大垣志織）

※陸上部、カヌー部、バスケットボール部、サッカー部の混成チーム

【平成25年度の活動】

- 4月 湊地区敬老会
- 5月 両丹高校総体壮行会
- 6月 京都府高等学校総合文化祭
音楽部門北部発表会
- 7月 野球応援
- 9月 文化祭
丹後吹奏楽フェスティバル
- 11月 丹後府立高校・与謝の海支援学校交流会
- 2月 校内演奏会、卒業式



サッカー部

【顧問】足達 哲也・俣野 雄一郎・岡田 英樹

今年度、1年生が3名入部し、インターハイ京都府予選及び両丹地域の総体・選手権大会に出場しました。

初めて出場したインターハイ京都府予選では力を出し切れず東稜高校に6対1で敗れました。この経験を踏まえ、公式戦勝利に向けて練習を積み重ねました。その結果、3年生最後の大会となった両丹選手権の中で加悦谷高校に3対0で快勝することができました。2名の3年生は高校からサッカーを始めた初心者でしたが、勝利に大きく貢献しました。

3年生が引退した後の新チームは部員数が少なくなり、新人大会に出場することができませんでした。冬場の練習はグラウンド・体育館で基礎体力、基本技術の向上を目指した練習を中心に取り組んでおり、その一環で地域のフットサル大会などにも出場しています。来年度、さらなる勝利が得られるよう日々の活動を積み重ねていきたいと思ひます。



バレーボール部

【顧問】金森 智徳・砂井 正紀

今年度は1年生経験者がJVAバレーボール協会に久美浜高校のチーム登録復活を果たし、高体連の主催する全ての公式戦と行事に参加することができました。夏休みには中学校と連携し、合同練習を通してお互いの良いところを学び合いました。8月の両丹高等学校夏季大会では念願の1勝をあげ、冬の新人戦では不戦勝もあり両丹でベスト8に入りました。部員互いの立場を尊重して仲良く練習を続けられたのが良かったと思います。これからも頑張りますので、応援よろしくおねがいします。



吹奏楽部

【顧問】田中 芙由子・木下 亜希子

年度当初は2、3年生2名だったので、入学式の演奏ができませんでしたが、1年生が6名加わり、いろいろな活動ができるようになりました。17時27分の丹後バス最終便に間に合うように今年は練習時間を設定しているので、放課後の練習時間はかなり限られていますが、真面目に練習をしています。また、自主的に18時まで残って練習する部員もいます。今後も校内外で大いに活躍できるように、技術の向上を目指して練習します。どうぞあたたかく見守っていただきますようよろしくお願いいたします。



茶道部

【顧問】厚見 香・増田 敬子・名定 由佳

今年度は、3年生6名(男子1名・女子5名)、2年生6名(男子4名・女子2名)、1年生2名(女子2名)の計14名で、和気あいあいと楽しく活動してきました。

普段の活動以外に、校内の行事として新入生歓迎会(4月)、文化祭(9月)、初釜(1月)、文化に親しむ月間(2月)での呈茶を行いました。8月には、着付け教室も実施しました。

また、校外の活動としてあじわいの郷でのボランティア茶会(6月)、中東高校生茶道体験(8月)、丹後高等学校文化祭典(9月)、久美浜まるかじり祭り(10月)での呈茶を行いました。1月の初釜では、普段経験出来ない点心席での作法を学びました。

今後も、いろいろな取り組みに参加したいと考えています。



農業クラブ

【顧問】増馬 克巳・岡田 英樹

日頃より農業クラブ活動にご理解をいただきありがとうございます。

農業クラブ員は今年度2年生男子6名で活動していきましました。大きな目標として京都府学校農業クラブ連盟大会意見発表、和牛審査競技会、家畜審査乳牛の部へ出場し入賞することです。意見発表では京都府の農業クラブ員が身近な問題や将来の問題などについて抱負や意見を交換するもので、本校からは3部門に各1名ずつの代表が出場しました。和牛審査競技会へは5名が参加し1名入賞、家畜審査乳牛の部では2名が入賞しました。

その他にも、放課後にジャガイモ、ダイコンなどの栽培、地域花壇の花の植栽を行いました。今後も農業クラブ活動を通して、たくさんのご経験を学んでいけたらと思います。

【主な成績】

〈第64回京都府学校農業クラブ連盟大会・意見発表の部〉

2年 角田 雄樹 「将来の自分」(食料・生活)

2年 山本 永範 「コウノトリと共に」(環境)

2年 中村 星斗 「農業中心の生活に変化した僕の毎日」
(文化・生活)

〈家畜審査乳牛の部〉 優秀賞 2年 角田雄樹

優秀賞 2年 吉川心哉

〈和牛審査競技会〉 優秀賞 2年 山本永範



華道部

【顧問】山下 豊子・増田 敬子

1年生が1名入部し、嵯峨御流を基本から練習しています。初心者ですが外部講師の先生の優しく丁寧な指導で練習を楽しみにしています。丹後文化祭典や校内の文化に親しむ月間で練習の成果を発表し、ますます意欲的に取り組んでいます。



軽音楽部

【顧問】田中 芙由子・田中 栄介・金森 智徳

今年度は丹後あじわいの郷月例祭に出演し、良い刺激を受けることができました。また、丹後府立高校・与謝の海支援学校交流会ではバックバンドとして全員合唱を支えました。今まで軽音楽部は男子が中心でしたが、今年度は女子の加入が増え、今後の成長に期待されます。

【活動内容(H25年度)】

H25年7月 校内ミニライブ

H25年9月 文化祭ステージ発表

H25年11月 丹後府立高校・与謝の海支援学校交流会

H25年11月 校内ミニライブ

H25年12月 丹後あじわいの郷月例祭

H26年2月 文化に親しむ月間・卒業ライブ



美術部

【顧問】岡本 隆之・山下 豊子

今年度は2年生3名、3年生2名で活動してきました。活動はアニメーションが中心ですが、新しい取組としてラバーストラップづくりにも挑戦しました。週3回ですが、それぞれが描いた作品について交流をしながら楽しく活動しています。今年度も文化祭や丹後高校文化祭典等に作品を展示しました。今後、さらに多くの学ぶ機会を得て、新しいことにも挑戦しながら活動していきたいと思っています。





進路状況

平成26年3月卒業生

◆進学について

四年制大学はAO入試や公募制推薦、指定校推薦の他、総合学科対象の推薦制度を利用して多くの生徒が年末までに進学先を決定しましたが、一般入試に向けて粘り強く学習に励み、力を伸ばして合格した生徒もありました。

短期大学は資格取得を目指す生徒がほとんどで、自宅通学圏内の学校に3名、それ以外の学校に2名が合格しました。

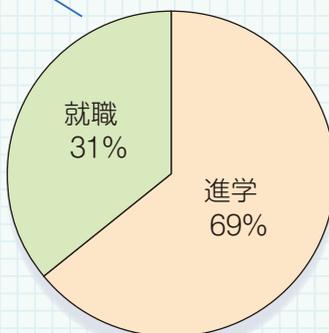
専門学校は28名の生徒が合格しました。今年度は看護・医療・福祉分野に進む生徒が多く、専門学校進学生徒の約40%を占めました。将来的に病院や福祉施設で働くことを考え、資格取得に励みます。

上級学校はどこもオープンキャンパスなどで学校を公開しています。積極的に参加して比較研究し、自分の学びたい分野や取得できる資格を検討することが重要です。

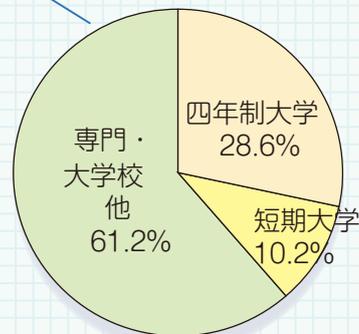
◆就職について

求人総数は増加傾向にあります。生徒の希望職種とは異なる求人が多いミスマッチの状態が続いています。特に地元求人は大変厳しい状況で職種を拡大して応募企業を検討した生徒もありました。また、全国的に学校を指定した求人が減少し、どこかの学校からでも受験できる公開求人が急増しています。就職内定を勝ち取るには、明るく健康で一定の学力を持ち、コミュニケーションがとれることが求められています。

■進路分野別希望状況



■進学分野別希望状況



おもな進学合格・就職内定先

【私立大学】

日本体育大学、大谷大学、京都文教大学、佛教大学、大阪産業大学、大阪商業大学、摂南大学、阪南大学、桃山学院大学、関西学院大学 他

【私立短期大学】

成美大学短期大学部、華頂短期大学、大阪青山短期大学、近畿大学豊岡短期大学

【専門学校】

京都府立看護学校、京都府医師会看護専門学校、洛和会京都厚生学校、阪奈中央リハビリテーション専門学校、関西学研医療福祉学院、大阪調理師専門学校、専門学校ESPエンタテインメント 他

【就職】

久美浜苑、海山園、ふるさとの会、(株)オフテクス、(株)北星社、(株)紫野和久傳久美浜工房、岩崎燃糸(株)加悦工場、ルビノ京都堀川、(株)共立メンテナンス、王将フードサービス(株)、(株)サカイ引越センター、(株)なかむら 他

編集委員

大垣 文乃
東 香代子
西垣 いく子
松岡 守
福井 正子



編集後記

P T A 第3号をお届けします。第3号は担任団の先生方より贈る言葉、3年生の保護者の方々より「卒業する我が子へ」、1・2年生から「卒業する3年生へ」、クラブ活動の特集記事を組みました。

3年生は卒業という大きな節目を迎えました。まだまだ厳しい社会情勢だとは思いますが、夢に向かって力強く巣立っていく子ども達を会員の皆様とともに応援したいと思います。

会報発行にあたり、お世話になった先生方、ご協力をいただいた会員の皆様、本当にありがとうございました。



学 校 だ よ り



3年生
レシテーショングランプリ



1年生
社会人との交流会



2年生
面接マナー講習会



3年生
進路講演会



1年生
喫煙防止学習

2年生
環境出前授業



1年生
スキー・スノーボード実習